

  
Tama Art University Museum  
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

**報道関係資料 PRESS RELEASE**

1996年9月

**瀧口修造文庫ポスターコレクション**  
**-時代を語るグラフィック-**  
POSTER COLLECTION of SHUZO TAKIGUCHI LIBRARY  
- TALKING GRAPHICS TO THE AGE -

- 会期** 1996年10月23日(水)～11月20日(水)  
開館時間＝午前10時～午後5時  
休館日＝日祭日(11/3、4を除く)  
入場無料
- 会場** 多摩美術大学附属美術館  
〒192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723  
最寄り駅＝京王相模原線・JR 横浜線 橋本駅  
橋本駅北口より京王バス(中央大学行)にて多摩美大前下車
- 主催** 多摩美術大学附属美術館
- 協力** 多摩美術大学図書館

《この展覧会に関するお問い合わせ先》

多摩美術大学附属美術館 学芸員 小林宏道または仙仁司  
TEL. 0426-76-8611 (代表) / FAX. 0426-76-2935



# Tama Art University Museum 多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

このたび多摩美術大学附属美術館では「瀧口修造文庫ポスターコレクション—時代を語るグラフィック—」展を開催いたします。

1985年に故瀧口修造氏(1903~1979)の遺品として、彼の自宅にのこされた膨大な文献資料等の多くが、多摩美術大学図書館に寄贈されました。その中には、日本の現代芸術の振興に巨大な足跡を遺した瀧口修造のもとに集まってきた、彼と同時代に生き、活躍し、時代に臨み続けた多くの芸術関係者の熱意と息吹を伝える、約200点のポスターが含まれていました。1950年代~1970年代を中心とした、これら数多くのポスターは、瀧口修造の芸術界への影響力の強さを物語ると同時に、彼を取り巻く戦後文化の変遷と動向を識るためにも重要な資料となるものです。

瀧口修造は、詩人として、美術評論家として、そして現代美術プロデューサーとして、まさにインターメディア、マルチメディア的な視点からの現代文化仕掛人の先駆けだったといえます。その功績は今日においてもなお、日本の芸術状況にも大きな影響を与えています。

しかし、今回の展覧会の真のねらいは、そうした立志伝中、歴史的な偉人としての瀧口修造の軌跡の探究ではありません。むしろ日本へのシュールレアリズムの熱心な紹介者であったり、戦後の前衛芸術や若手の芸術家たちのよき理解者であり、活躍の場の提供者であったキーパーソンとしての瀧口修造の位置づけを通してポスターたちの意義を考えます。彼をめざして収束してきたポスターは、当時の時代状況に対する現在進行形の表現として、何を物語るのでしょうか。もともとポスターというメディアは、瀧口修造文庫の大半を占める書籍、展覧会カタログ等の文献資料と違い、ヴィジュアルな効果からのインパクトと即効性に富む、時代の証言者的な性格が強いものです。これらのことから、単なるデザイン技法や世代論的な流行やスタイルの追従ではない、グラフィックへの視線が現れるのではないかと考えました。

これは別の言い方をすれば希代の文化仕掛人である、瀧口修造という人格に引き寄せられた時代精神が、ポスターという形で集積されているといえます。それはあたかも激しく流動していた戦後の前衛芸術のエネルギーが、瀧口修造のもとに見えない力によって吸い寄せられ、高密度の重力場として表示された、宇宙空間のブラックホールのような存在なのかもしれません。たしかに、いまだに瀧口修造の存在自体が、日本の戦後芸術史における公的な文脈で語り得ない(脚光を浴びないのではなく、光をも吸い込むという意味で)ブラックホールのようなものだともいえます。

そうした意味で、今回展示される約100点におよぶ瀧口修造文庫ポスターコレクションの展示は、現代美術史に新たな脚光を浴びさせるためのものではありません。瀧口修造という磁場に引き寄せられたポスターグラフィックが語る、瀧口修造の活動した時代の鼓動やムードを感じてもらい、さらなる美術史的な探究や表現の可能性についての糧にしてもらうことを願っています。



Tama Art University Museum  
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

開催要項

- 1) 名称 瀧口修造文庫ポスターコレクションー時代を語るグラフィックー  
POSTER COLLECTION of SHUZO TAKIGUCHI LIBRARY  
—TALKING GRAPHICS TO THE AGE —
- 3) 会期 平成8年10月23日(水)～11月20日(水)  
午前10時～午後5時  
休館日＝日祭日(11月3日・4日を除く)
- 4) 会場 多摩美術大学附属美術館
- 5) 入場料 無料
- 7) 主催 多摩美術大学附属美術館
- 8) 協力 多摩美術大学図書館

内容

多摩美術大学瀧口修造文庫にふくまれるポスター約200点より100点を抜粋。  
ポスターに関連する多摩美術大学瀧口修造文庫にふくまれる書籍や肉筆資料、作品等。  
その他の参考出品資料。

その他

会期中の関連事業

講演会 : 11月3日(日) 15:00～16:30 [講師＝赤瀬川原平氏[美術家]]  
会場 二本館405教室 無料 タイトル未定

5. 制作物等

カタログ: A4・P. 80・2000部

執筆 北代省三氏(美術家)  
羽原肅郎氏(明星大学教授)

主要年譜・文献目録(執筆: 中島理壽氏[多摩美術大学非常勤講師])

  
 Tama Art University Museum  
 多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935



## アンリ・マチス展

油絵 デッサン 挿絵本  
 礼拜堂のための作品

1951年3月31日-5月6日

国立博物館表慶館

主催 国立博物館 読売新聞社

1951年「アンリ・マチス展」(東京国立博物館) 38.0×53.0cm

# EXPERIMENTAL WORKSHOP'S 2nd EXHIBITION

## 現代作品演奏会

作品  
 マシアン他

## 実験工房才2回発表会

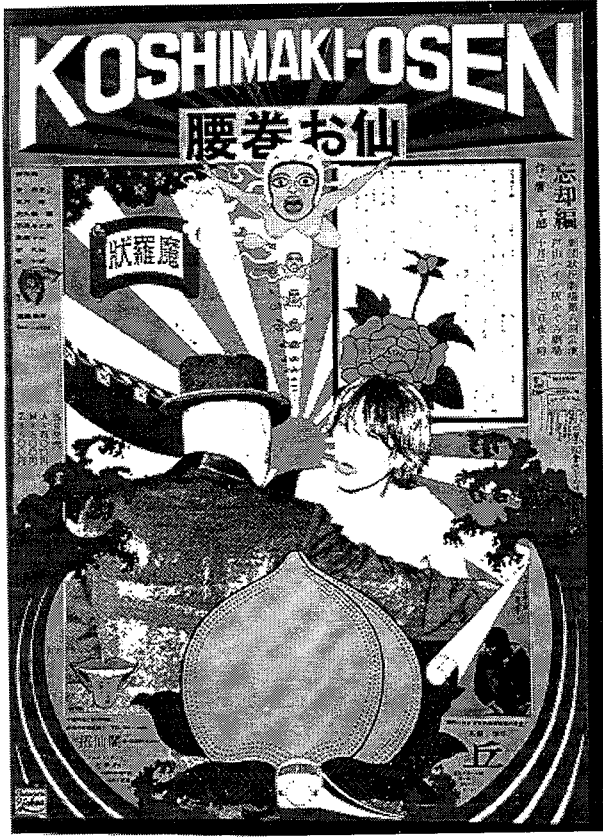
演奏  
 園田高弘他

市谷・女子学院講堂

1月20日(日)2時

会員券 ¥100  
 各プレイガイド

1952年「現代作品演奏会」(実験工房第2回発表会) 44.0×59.5cm



1966年「腰巻お仙 忘却編」  
 (劇団状況劇場：デザイン=横尾忠則)  
 108.5×79.0cm



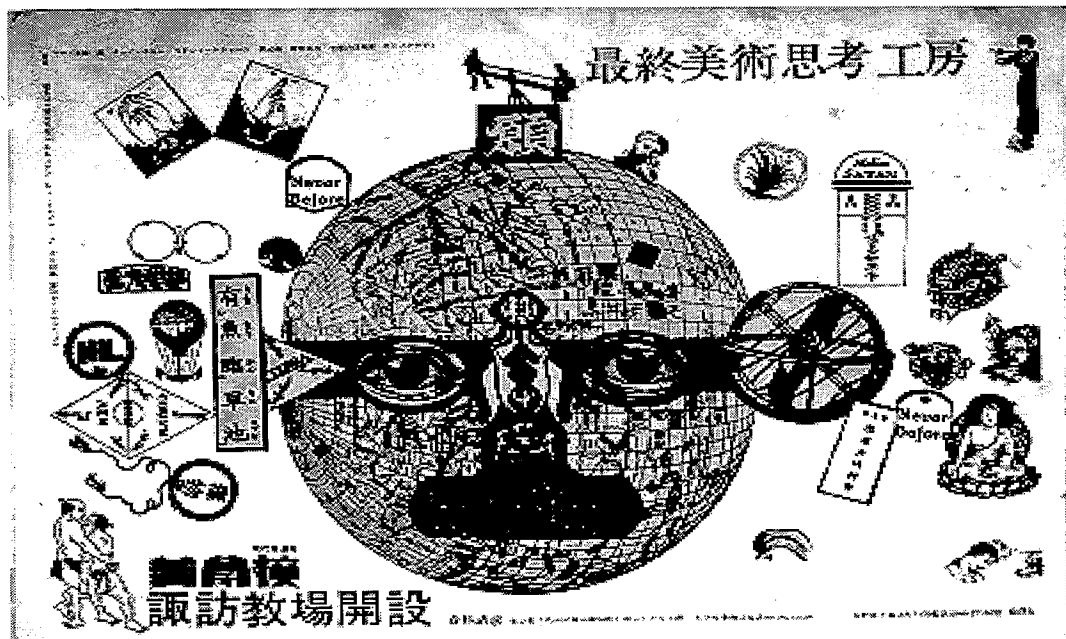
1973年 土方巽舞踏公演「静かな家」  
 (西武劇場：デザイン=田中一光)  
 103.0×72.5cm

  
**Tama Art University Museum**  
**多摩美術大学附属美術館**

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935



「Olivetti Printing Calculators」(イタリア オリベッティ社のポスター) 68.5×50.0cm



「美学校 諏訪教場開設」(デザイン=松澤宥) 39.5×54.5cm